

第93期 営業の中間ご報告

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで

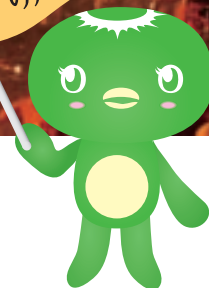
ミニディスクロージャー誌

地域を興し、ともに成長・発展する銀行



あなたのまちの

筑邦銀行



当行キャラクター
チカッパ

目次

ごあいさつ	1
経営方針	2
特集 ちくぎんの地域創生への取り組み	3
ダイバーシティ推進への取り組み	8
CSR	9
お客さまへの大切なお知らせ	11
株主の皆さまへ	14
業績ハイライト	15
財務のご報告(単体)	18

筑邦銀行のプロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	7,596億円
預金・譲渡性預金	6,805億円
貸出金	4,448億円
資本金	80億円
株主数	2,853名
従業員数	680名
店舗数	44か店

平成28年9月30日現在

ごあいさつ

「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。このたび、平成28年9月期ミニディスクロージャー誌を作成いたしました。期中の業績を始め、地域創生への取り組みやトピックスなどをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

当中間期のわが国経済は、政府の経済対策などから雇用情勢が改善するなど、全体としては緩やかな回復の動きが続いたものの、金融政策の行き詰まり感や円高の動きなどにより、個人消費の停滞感など一部に弱い動きがみられました。金融情勢につきましては、日本銀行のマイナス金利政策による金融機関の収益悪化懸念や、年金基金、生命保険会社などの運用難など取り巻く環境は一段と厳しくなっております。一方、海外景気は、英国のEU離脱、欧州銀行の不良債権問題、中国経済の成長鈍化などを反映し、世界経済の下振れ懸念など不透明な状況が続きました。

こうした中、当行は昨年4月より、「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」という新たなスローガンを掲げ、「中期経営計画2015」（計画期間平成27年4月～平成30年3月）に取組んでおります。

地域を活性化するためには自治体、地元企業が動くのを待つのではなく、銀行自らが企画段階から構想に関わり、コンサルティング機能を発揮することを通して主体的に動いていく必要があると考えており、一部では既に成果も挙げつつあります。

当行は今後も、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地方銀行そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

今後ともお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年12月



頭 取 佐藤 清一郎

■ 経営方針

基本理念「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

中期経営計画2015 (対象期間2015年4月～2018年3月)

中期経営計画2015の全体スキーム

地域を興し、ともに成長・発展する銀行

中期経営計画の
スローガン

地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環

中期経営計画の
ビジョン



求められる
行動基準

お客さまの実情把握と
お役に立つ情報の発信

お客さまの期待を
超える提案力

お客さまに信頼される
専門知識と人柄（人間力）

3つのC
・CHALLENGE
・CONFIDENCE
・COMMUNICATION

3つのS
・SPEED
・SMILE
・SPIRIT

計画達成に
向けた基本方針

3つの基本方針

地域創生への貢献

専門部署によるサポート力の強化
地域資源の掘り起こし
起業・創業への積極的な関与

営業基盤の拡充

全員営業態勢の徹底
運用力の強化
グループ総合力の発揮

経営課題への的確な対応

ダイバーシティの推進
事務合理化の徹底
持続的な株主還元

基本方針の下で
実施する
重点取組項目

環境変化に応じた柔軟な組織の見直し

重要課題への対応

外部環境への適応



特集 | ちくぎんの地域創生への取り組み

創業・起業期

創業・起業を支援

創業・起業を目指すお客さまのサポートを積極的に行っております。

日本政策金融公庫、福岡県信用保証協会、ちくぎん地域経済研究所と業務提携

当行以外の金融機関等の知見や幅広いネットワークを活用し、お客さまのさまざまなニーズにお応えいたします。

くるめ創業ロケット

相談窓口を設置し、補助金申請に必要な事業計画書の内容等についてアドバイスしております。



～金融面から支援～「ちくぎん地域活性化ファンド」(総額約30億円：出資約3億円、融資27億円)

<これまでの事例>

- 地元のバイオベンチャー企業へ投資
- 農業6次産業化(農産物加工直売所並びにレストラン)を行う地元の農業者へ投資
- NPO法人が行うホームホスピス事業へ融資
- 自治体が行う地域電力会社へ融資等



農産物加工直売所

その他、企業の創業および新規事業支援を目的とした「九州アントレプレナークラブファンド」にも出資しております。

創業補助金等の認定支援機関

事業計画の検証を行う等、事業者の支援業務に取り組んでおります。

(株)ACT NOWとの提携協力契約締結

地方創生に資する事業や観光振興につながるクラウドファンディングの組成に注力している(株)ACT NOW(札幌市)と、クラウドファンディングを活用した地方創生、地域の活性化に取組むことを目的として、提携協力契約を締結いたしました。

- (1) クラウドファンディング：群集(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、インターネットを介して不特定多数の人から資金を調達したり、賛同者を募る仕組み。
- (2) 協力内容：当行は、同社に対しクラウドファンディングの利用を希望する事業者の情報を提供し、クラウドファンディングを活用した事業案件の成立に協力。

成長・成熟期

事業拡大を支援

お客さまの事業拡大を支援するため、さまざまな商談会等を開催しております。

久留米広域商談会

北部九州ビジネスマッチング協議会(当行、佐賀銀行、十八銀行)、久留米広域定住自立圏、大川信用金庫との共催で実施。地場の中小製造業に対する受注機会の確保、地域産業の活性化を図ることを目的としています。



ちくごバイヤービジネスマッチング会(求評会)

久留米商工会議所等との共催で実施。新商品を求める大手流通業者(百貨店、専門店等)がブースを構え、参加した企業が個別に商談を行いました。



地方銀行フードセレクション2016

当行を含む全国の52行が共催し、食品関連事業のお客さまを対象として実施。当行のお取引先からも10社に出展いただきました。



海外展開を支援

専門部署、業務提携先等とともに、これから海外でビジネスをお考えのお客さま、すでにビジネスを展開中のお客さまの支援をしています。

<業務提携先>

- ◆(株)アジア福岡パートナーズ(AFP)
- ◆(独)中小企業基盤整備機構九州本部
- ◆日本通運(株)福岡支店 ◆損害保険ジャパン日本興亜(株)
- ◆あいおいニッセイ同和損害保険(株) ◆(独)日本貿易保険
- ◆三井住友海上火災保険(株)
- ◆(株)フォーバル ◆ベトナム銀行(ベトナム)
- ◆メトロポリタン銀行(フィリピン)
- ◆Banamex(メキシコの地場銀行)等

<利用可能な主な外部機関>

- ◆(独)日本貿易振興機構(ジェトロ) ◆九州経済産業局等

<展覧会>

第2回日本商品大連地区巡回展、2016(第8回)大連日本商品展覧会に出展いただいた当行のお取引先を、当行、AFPで支援いたしました。



平成28年熊本地震の復興を支援

平成28年熊本地震において被災された事業者の皆さまの復旧・復興支援等を目的とする「九州広域復興支援ファンド」へ出資いたしました。

経営改善・事業承継期

経営改善を支援

専門部署が経営者の皆さまと経営上の問題点や課題を抽出し、業界動向や個々の企業の特性など、多面的な検討を通じた経営改善・事業再生支援を行っております。

外部機関・外部専門家によるサポート！

- ちくぎん経営相談会 ● 地域経済活性化支援機構
- 中小企業再生支援協議会 ● ふくおかサポート会議
- 経営革新等支援機関 ● 税理士 ● 中小企業診断士
- 経営コンサルタント会社等

事業承継を支援

お取引先において後継者問題等で悩む中小企業が増加しています。そのようなお取引先を支援するため、様々なセミナーや相談会を行っております。

事業承継支援、M&A支援、組織再編等のコンサルティングを行い、お取引先等に対する課題解決支援の強化を図るため、外部企業とも提携しております。



ちくぎん地域経済研究所との共催により行われたセミナーでは、約50のお取引先の代表者および後継者の方々に参加いただきました。



活躍中!! 外部機関出向者の声

九州経済産業局 地域経済部地域経済課 RESAS*調査員

くましろ としくに
神代 敏州

＜RESASの普及に従事＞

政府が開発した地域経済分析システム(RESAS：リーサス)を多くの自治体や民間の皆さまに利用していただくために、普及支援活動をしています。RESASの特徴は、ビッグデータを「見える化」し、「誰でも」「分かりやすく」「感覚的に」見ることができる点です。

九州経済産業局では、RESASに関するセミナーや勉強会等も行っておりますので、興味がある方は、お気軽にご連絡下さい。



～ お問い合わせ先 ～

<http://www.kyusyu.meti.go.jp>

TEL：092-482-5574

お気軽にご連絡下さい

*RESAS(リーサス)：産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステム。

(独)日本貿易振興機構(ジェトロ) 北九州貿易情報センター

まき こうへい
牧 紘平

＜海外展開支援のノウハウを習得＞

主に農林水産・食品の輸出支援を行っております。平成28年8月には、アジア最大級の食品見本市であるFOOD EXPO香港に出展する企業2社の出展を支援しました。また、JETRO香港と協力した市場調査にも参加しました。

JETROへの出向は、私の視野を大きく広げるきっかけとなっています。今後も海外展開支援のノウハウを磨いていきたいと思います。



交流の場が広がりました



久留米大学、三井住友銀行と連携協定締結(平成28年3月)

▶ 「グローバル・キャリア」を久留米大学にて開講

開講期間：平成28年9月23日(金)～平成29年1月13日(金)

開講学部：文学部、法学部、経済学部、商学部

場 所：久留米大学御井キャンパス

当行は、久留米大学において三井住友銀行と連携し、文系学部の学生を対象とした「グローバル^{*}・キャリア」を開講いたしました。

講座は全15回で、ビジネスとしての金融の果たす機能について学習します。その他にも、地域創生に関する課題に対し学生自らが事業モデルを企画立案し、当行および三井住友銀行等の外部講師との討議や議論を経て、プレゼンテーションを行います。

学生に地域の現状や課題について解決策を考えてもらうことで久留米・筑後を中心とした地域、そして世界で活躍するグローバルな人材の育成を目指します。

*グローバル

「グローバル」(国際的)と「ローカル」(地域)の造語で、“Think globally, act locally.”(国際的な視野をもって地域に貢献する)とも関連する言葉。

受講者の声

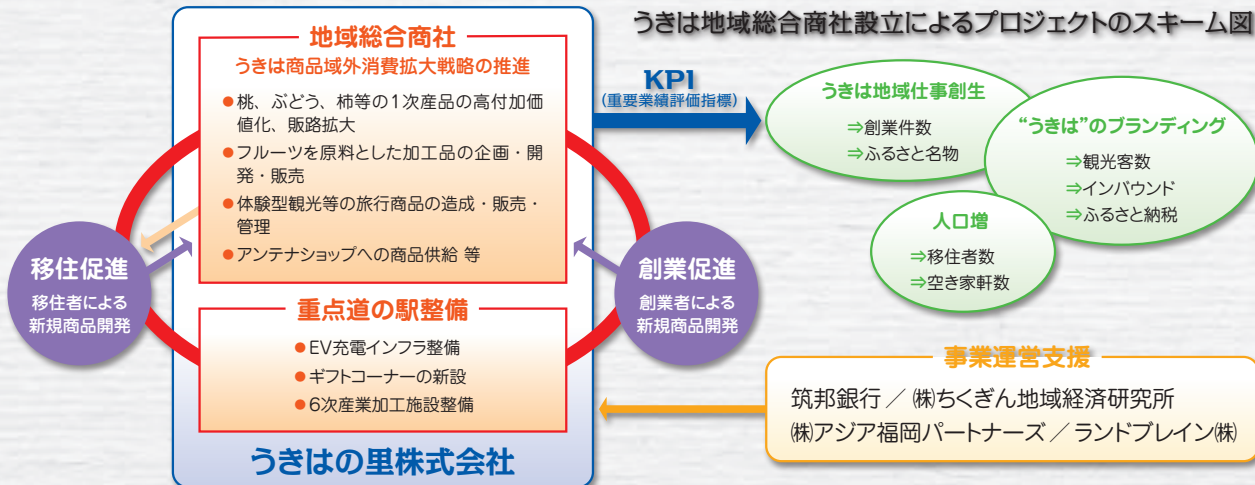
⇒人口減少が大きな問題であることを知り、そのために今「地域創生」に力を入れていくことが大切だと感じた。

⇒銀行と地域の繋がりの深さを知り、様々な場面で銀行が地域へ貢献していることに驚いた。

⇒多くの企業や金融機関が「地域創生」に力を入れていると聞くと、どのような成果が出ているのか気になった。

⇒地元で就職し、地域に貢献したいと思った。

うきは地域総合商社設立によるプロジェクトのスキーム図



▶ うきは市が実施する 「うきは地域総合商社事業計画策定・ 試行・検証事業」への協力について



当行は、福岡県うきは市が実施する「うきは地域総合商社事業計画策定・試行・検証事業」に、(株)ちくぎん地域経済研究所、(株)アジア福岡パートナーズおよびランドブレイン(株)などと連携し協力いたします。

1. 事業概要

本事業は、「道の駅うきは」(うきはの里(株)が運営)に地域総合商社機能を付与し、「うきは」地域のブランディングを行い地域として稼ぐ力を高めるため、「うきは地域総合商社設立による“外貨を稼ぐ地域づくり”および創業支援による“仕事づくり”プロジェクト」を実現することを目的としています。

2. 事業期間 平成28年6月1日～平成29年3月31日(予定)

3. 支援内容

- ① 「うきは地域総合商社」の事業計画策定や、その計画に基づく試行的事業の実施・効果検証に関する支援
- ② 地域資源を活かした新商品開発等支援事業への協力
- ③ うきはは製品の販路拡大に関するビジネスマッチング支援



ダイバーシティ推進 への取組み～女性活躍推進～

キャリアデザイン研修

ダイバーシティ推進のメイン項目に「女性活躍推進」を掲げており、平成28年7月に外部講師を招き「第1回キャリアデザイン研修～ダイバーシティ社会に沿う自己のキャリア形成を考える～」を実施しました。

【講座内容】

- 自分のキャリアを考える
- キャリアマネジメントの基本
- 働き続けることの意義と意味
- ダイバーシティ(多様性)のある働き方 等

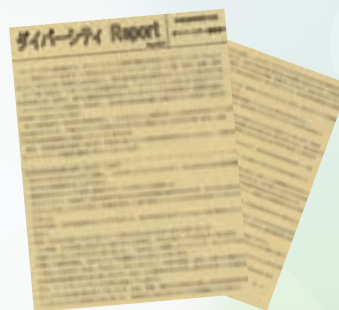


入行10年目程度の女性行員
27名が参加

ダイバーシティReport発行 平成28年8月～

ダイバーシティの意識の醸成を目的に「ダイバーシティ Report」の発行を開始いたしました。

No.001は7月開催のキャリアデザイン研修会に参加した行員の感想(気づき)を紹介し、「働くことの意味」を再度考える内容としました。



ダイバーシティ推進室長／**馬田 兼行**

ダイバーシティ推進室長の声

当室では、多様な人財がそれぞれの能力を十分に発揮できる環境作りに取り組んでいます。とりわけ「女性の活躍」は大きなテーマであり、すでに女性キャリア支援セミナーなどを開催しています。また、ベテラン行員の活躍支援やグローバル人材の育成など多くのテーマに取り組む必要があります。全行員が活き活きと業務を行えるよう、その阻害となる要因を改善し、活躍できるための仕組み作りを具体的に進め、実現していきます。

地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員として地域の発展を願い、さまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

地域振興

久留米商工会議所主催の「まちゼミ」、「まちゼミ Kids」に参加し、講座を開講（平成28年7、8月）



まちゼミ

「知って得する！
資産運用」をテーマに本店にて2日間開催いたしました。



今年初めて開講した
まちゼミ Kids

「ちくぎん！子ども銀行たんけん隊」と題し、多くの小学生以下の皆さんとその保護者の方々にご参加いただきました。
行員による「お金について」の講義や営業部ロビー見学により、銀行の仕事をわかりやすく説明しました。模擬紙幣1億円を持ち上げる体験や札勘、チカッパとのふれあいが大好評でした。

NPO法人 久留米ブランド研究会主催
「久留米まち旅博覧会」に参加（平成28年11月）

今年初めて「久留米まち旅博覧会」に参加し、本店にて、「本部バックヤードツアー」を開催いたしました。



営業部を見学



札勘を体験

地域行事への積極参加

地域社会の一員としてさまざまなイベントに役職員が積極的に参加しており、地域の皆さまとのふれあいを大切にしております。



博多どんたく港まつり（平成27年5月）



第45回水の祭典 久留米まつり（平成28年8月）
グランプリを受賞



職場体験の実施

福岡県下の経済界・教育界の協力のもと展開する「FUKUOKAみらいフェスタ」に参加し、行員の子どもによる職場体験を実施いたしました。



デスクワークや模擬紙幣での札勘を体験

環境保全・美化運動

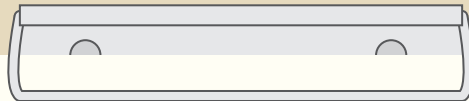
創立50周年を機に、平成14年10月より当行の基本理念である「地域社会へのご奉仕」を実践するために、全行員による店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を行っております。

平成28年7月には、当行ならびに本店営業部の活動が「平成28年度 福岡国道事務所国土交通行政功労者表彰式」において表彰されました。

また、「都心部道路美化キャンペーン」や「筑後川河川美化ノーポイ運動」などの地域の美化運動にも行員が積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けております。



■ お客さまへの大切なお知らせ



「犯罪収益移転防止法」の改正に伴うお取引時確認方法の変更について

当行では、「犯罪収益移転防止法」により、口座開設等の際に本人確認書類のご提示とご職業、お取引を行う目的などの確認をさせていただいておりますが、同法の改正により、平成28年10月1日から、お取扱いが一部変更となりました。

1. 主な変更点

- (1) 健康保険証等の顔写真がない本人確認書類のお取扱いの変更
- (2) 法人のお取引のために来店される方の代理権限の確認方法の変更
- (3) 法人のお客さまの実質的支配者の確認方法の変更
- (4) 外国政府等において重要な公的地位にある方等とのお取引にかかる確認の追加
- (5) 公共料金、入学金等を現金で払込みする際のお取引にかかる確認の簡素化

2. 確認が必要なお取引

- (1) 新規預金口座の開設、貸金庫・保護預りの取引開始
- (2) 10万円を超える現金振込、持参人払式小切手による現金の受け取り
- (3) 200万円を超える現金、持参人払式小切手の受け払い
- (4) 融資取引 等

※これらの取引以外にも、お客さまに確認させていただく場合があります。

3. お客さまへのお願い

〈下記に該当する際は、確認事項の再確認をさせていただく場合があります〉

- 平成28年10月1日以降、口座開設や融資を受けられる場合
- お取引の名義人になりすましている疑いがある場合、「氏名・住所・生年月日・職業・取引を行う目的」等を偽っている疑いがある場合、特定の国に居住・所在している方との取引を行う場合、外国政府等において重要な公的地位にある方等に該当することが判明した場合

詳しくは、最寄りの当行営業店にお問い合わせください。

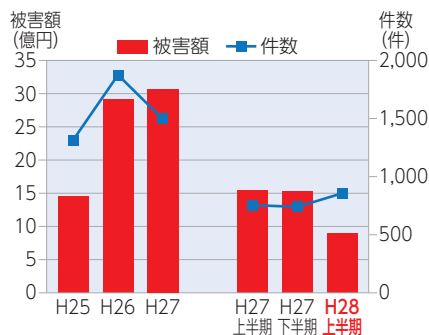
気をつけて!

インターネットバンキング利用時の注意点

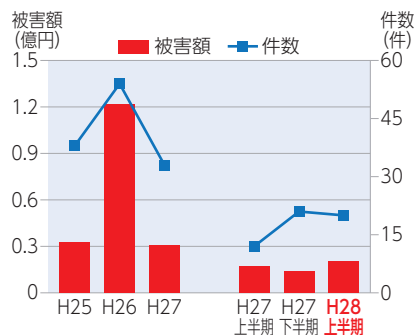


インターネットバンキング利用者の口座から預金が無断で不正送金される被害が、平成28年上半期、全国では857件、被害額約8億9,800万円（昨年より約4割減）となりました。福岡県内では件数は減少したものの、被害額は約2.060万円と昨年より約700万円増となっております（インターネットバンキング不正送金事犯の発生状況（福岡県警察）を加工して作成）。

全国の発生状況



県内の発生状況



※インターネットバンキング不正送金事犯の発生状況（福岡県警察）を加工して作成。



当行のインターネットバンキングを安全に利用するためには??



- 不審なメールやホームページ、不正なポップアップ画面は注意する
- 必ずパソコンにウイルス対策ソフトを導入し最新の状態に更新する
- パソコンのOSやブラウザソフト等を最新の状態に更新する
- ID・パスワードを適切に管理する（定期的にパスワードを変更する。また、推測されにくいパスワードに設定する）
- ワンタイムパスワードを利用する
- 振込限度額は必要最低限に設定する

万全な対策を取りご利用いただきますようお願いいたします。

■ お客さまへの大切なお知らせ

気をつけて！ 特殊詐欺 ☎

平成28年上半期の福岡県における二セ電話詐欺（振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺）の認知件数は166件で被害額は3億5,432万円となっております（福岡県警察ホームページより）。昨年と比べ被害は大幅に減少していますが、まだまだ予断を許さない状況であり、新たな手口による被害が発生する可能性があります。

当行は、「二セ電話気づかせ隊」の推進委員として、今後もお客さまへの声かけ・防犯チェックを徹底してまいります。

二セ電話詐欺被害を未然に防止！久留米警察署より表彰（平成28年10月）

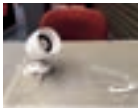
来店後から携帯電話でやり取りし、メモを取るなどの落ち着かない様子だったお客さまがATMから振込をしようとした際に、行員が振込内容等を詳しく聞き取り、被害の未然防止につなげました。



携帯助聴器「ボイスメッセ」、 「耳マーク表示板」および卓上型対話支援 システム「COMUOON（コミュニケーション）」の設置について

当行は、平成28年4月1日施行の「障害者差別解消法」を踏まえ、聴覚に障がいのあるお客さまやご高齢のお客さま等、耳が不自由な方に配慮した対応のため、以下の機器を設置いたしました。

設置物について

名 称		機 能	
1	携帯助聴器 「ボイスメッセ」	小型高性能マイクが内蔵されており、機器を耳に当てると、マイクで集音した音声を拡張して聞くことができます。	
2	耳マーク表示板	この表示板を指差すことで、耳が不自由であることを周囲に対して知らせることができます。	
3	卓上型対話支援システム 「COMUOON（コミュニケーション）」	卓上型の対話支援システムです。マイクで行員の声を集音し、スピーカーから聞き取りやすい音声を聞くことができます。	

※ 3 卓上型対話支援システム「COMUOON（コミュニケーション）」につきましては、本店営業部、荒木支店のみ設置しております。

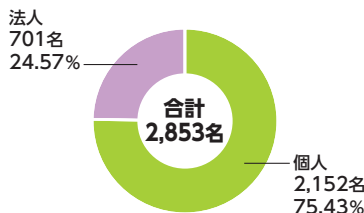
株主の皆さまへ

株式の状況

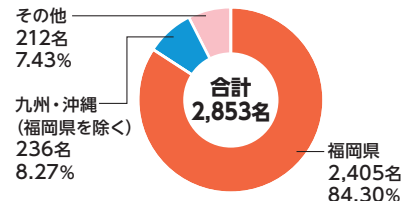
(平成28年9月30日現在)

発行済株式の総数 62,490,200株
株主数 2,853名

▶ 株式の所有者別分布状況



▶ 株主の地域別分布状況



株式のご案内

1.事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	6.同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
2.期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日	7.上場証券取引所	証券会員制法人 福岡証券取引所
3.中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日	8.公告方法	電子公告 ただし、電子公告をすることができない場合は福岡市で発行する西日本新聞に掲載
4.定時株主総会	毎決算日後3か月以内に開催		
5.株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		

(ご案内)

1. 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
2. 株主様の住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株主の皆さまからの日頃のご支援・ご愛顧にお応えするとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に長期間保有していただくことを目的として平成26年2月に株主優待制度を新設いたしました。

所有株式数1,000株(1単元)以上保有する株主さまに対し、当行オリジナルクオカードを贈呈し、さらに保有期間12ヶ月以上の株主さまには保有株式数に応じて、当行オリジナル株主優待カタログから地元の特産品等をお選びいただけます。

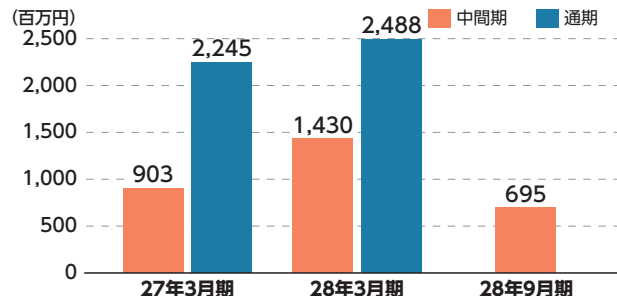


業績ハイライト

経常利益

経常利益は、有価証券利息が増加したものの、不良債権の処理費用が増加したことなどから、前年同期比7億35百万円減益の6億95百万円となりました。

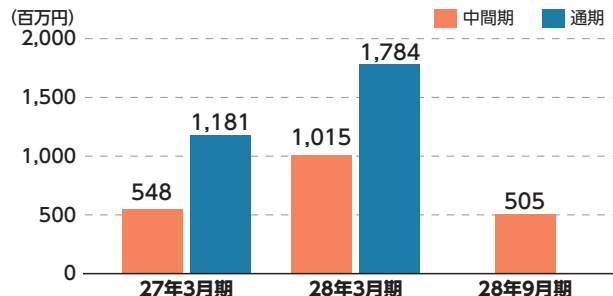
経常利益(単体)



中間(当期)純利益

中間純利益は、経常利益が減益となったことなどから、前年同期比5億10百万円減益の5億5百万円となりました。

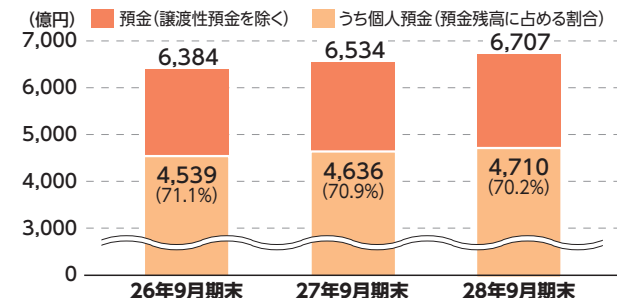
中間(当期)純利益(単体)



預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金が引き続き増加したことに加えて法人預金も増加したことから、前年同期末比173億円増加の6,707億円となりました。

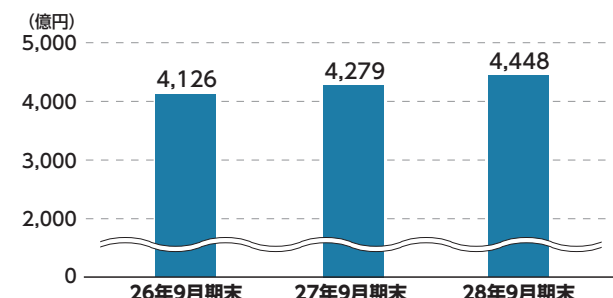
預金残高の推移(単体)



貸出金

貸出金は、地元の中小・中堅企業や個人事業主を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客さまの資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めた結果、前年同期末比169億円増加の4,448億円となりました。

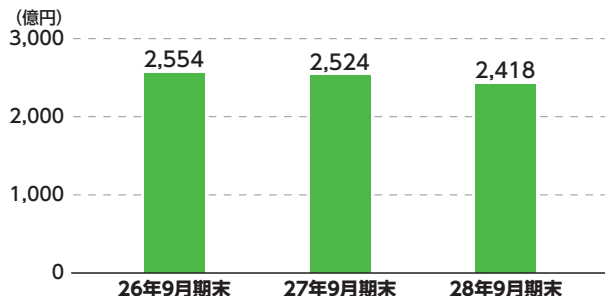
貸出金残高の推移(単体)



有価証券

有価証券は、マイナス金利となっている投資環境のなか、新発債等の購入や償還を迎えた債券の再投資に対し慎重に取り組んだことから、前年同期末比105億円減少の2,418億円となりました。

有価証券残高の推移(単体)

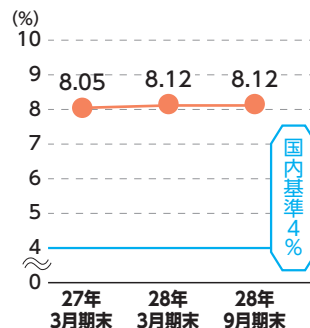


自己資本比率

8.12%

国内基準(4%以上)を大きく上回っています。

自己資本比率(単体)



平成28年9月期末の自己資本比率は、平成28年3月期末比横ばいの8.12%となり、最低所要自己資本比率(国内基準)の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、資本金や利益剰余金などの普通株式に係る株主資本の額が自己

資本の額のほとんどを占めており、質の高さを維持しております。

不良債権比率

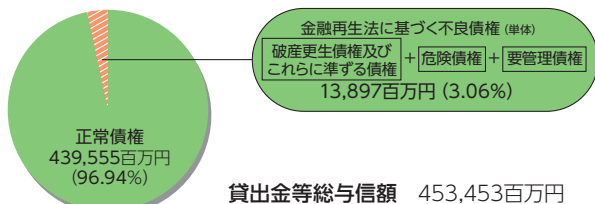
3.06% ※

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額4,534億53百万円のうち回収に懸念のない正常債権は4,395億55百万円であり、総与信額の96.94%を占めております。

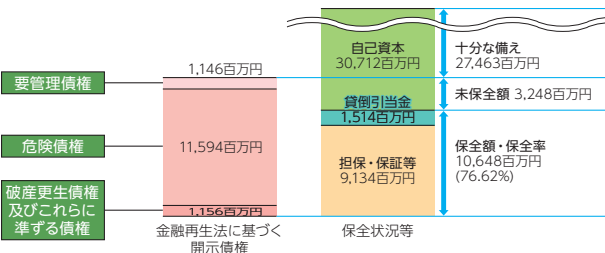
一方、不良債権は138億97百万円(総与信の3.06%)となり、前年同期末の160億32百万円(総与信の3.67%)と比べ21億35百万円減少しました。また、この不良債権の76.62%(106億48百万円)は、担保・保証等や引当金で保全されています。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底し、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。

※部分直接償却後の比率



※対象債権：貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返、銀行保証付私募債

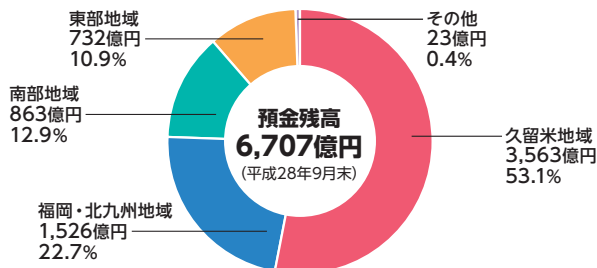


業績ハイライト

皆さまとお取引状況〈預金・預り資産〉

地域別預金残高、構成比率

当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に増加しております。今後もお客様のニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

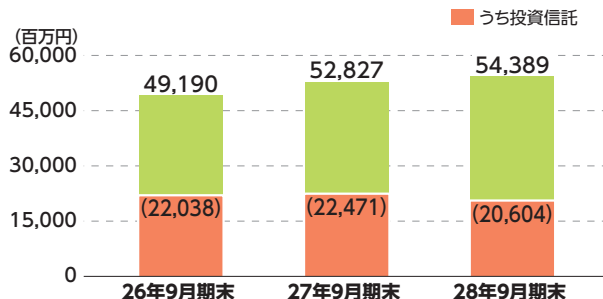


個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は前年同期末比15億62百万円増加して543億89百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

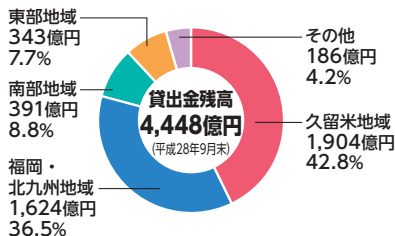
個人預り資産残高の推移



皆さまとお取引状況〈融資〉

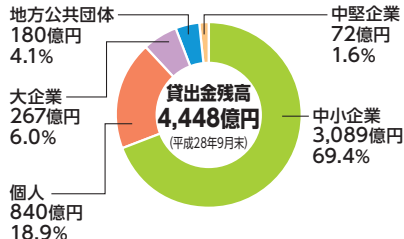
地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客様からお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



中小企業等貸出金残高、構成比率

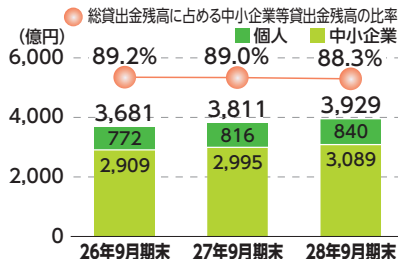
当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前年同期末比117億円増加し、3,929億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、88.3%（中小企業69.4%、個人18.9%）と引き続き高い割合を維持しております。

中小企業等貸出金残高、比率の推移



財務のご報告（単体）

第93期中 中間貸借対照表（単位：百万円）

（平成28年9月30日現在）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	49,966	預金	670,792
買入金銭債権	420	譲渡性預金	9,767
商品有価証券	224	借入金	27,000
有価証券	241,861	その他負債	2,435
貸出金	444,892	未払法人税等	144
外国為替	1,901	リース債務	310
その他資産	4,086	資産除去債務	71
その他の資産	4,086	その他の負債	1,909
有形固定資産	9,736	退職給付引当金	1,331
無形固定資産	90	偶発損失引当金	140
前払年金費用	306	繰延税金負債	1,328
支払承諾見返	8,383	再評価に係る繰延税金負債	1,195
貸倒引当金	△2,211	支払承諾	8,383
資産の部合計	759,659	負債の部合計	722,374
		(純資産の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	15,102
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	12,378
		別途積立金	7,400
		繰越利益剰余金	4,978
		自己株式	△147
		株主資本合計	28,714
		その他有価証券評価差額金	6,134
		土地再評価差額金	2,288
		評価・換算差額等合計	8,422
		新株予約権	148
		純資産の部合計	37,285
		負債及び純資産の部合計	759,659

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第93期中 中間損益計算書（単位：百万円）

（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

科 目	金 額
経常収益	6,671
資金運用収益	4,778
（うち貸出金利息）	(3,381)
（うち有価証券利息配当金）	(1,350)
役務取引等収益	846
その他業務収益	606
その他経常収益	439
経常費用	5,975
資金調達費用	145
（うち預金利息）	(127)
役務取引等費用	482
その他業務費用	9
営業経費	4,400
その他経常費用	937
経常利益	695
特別損失	1
税引前中間純利益	694
法人税、住民税及び事業税	233
法人税等調整額	△44
法人税等合計	189
中間純利益	505

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第93期中 中間株主資本等変動計算書（単位：百万円）

（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	株 主 資 本								評価・換算差額等				新 予 約 権	純 資 産 計 合	
	資 本 金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	そ の 他 有 価 証券 評価 差 額 金	土 地 再 評価 差 額 金			評 価 ・ 換 算 差 額 合 計
		資 準 備 金	資 剰 余 金	本 金 計	利 準 備 金	益 金	そ の 他 別 途 積 立 金	利 益 剰 余 金							
当期首残高	8,000	5,759	5,759	2,724		7,400	4,632	14,756	△178	28,337	6,835	2,288	9,124	145	37,607
当中間期変動額															
剰余金の配当							△154	△154		△154					△154
中間純利益							505	505		505					505
自己株式の取得									△0	△0					△0
自己株式の処分							△5	△5	31	26					26
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）											△701		△701	3	△698
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	—	345	345	31	376	△701	—	△701	3	△321
当中間期末残高	8,000	5,759	5,759	2,724		7,400	4,978	15,102	△147	28,714	6,134	2,288	8,422	148	37,285

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙について だいぜん し たまたれぐう おに よ (大善寺玉垂宮の鬼夜)

表紙写真出所
(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会



子どもから大人まで同じいでたちで参加。毎年当行からも数名参加しています。

大善寺玉垂宮の鬼夜は、久留米市大善寺町で大晦日の夜から正月7日まで行われる鬼会(おにえ)の最終日に行われる行事で、日本三大火祭りの一つに数えられています。1600年余りの伝統があり、平成6年12月13日には国の重要無形民俗文化財に指定されました。

始まりは、仁徳天皇56年(368年)1月7日、勅命により藤大臣が、当地を荒し人民を苦しめていた賊徒・肥前国水土の桜桃沈輪(ゆすらちんりん)を、闇夜に松明を照らして探し出し、首を討ち取って焼却したことだといわれています。

鬼夜は、昼の鬼面尊神の神事と種蒔き神事、夜の大松明廻しと鉾面神事・鬼の堂回りなどの神事からなります。クライマックスを飾る大松明廻しは、直径約1m、全長約13m、重さ約1.2tの6本の大松明を、数百人の締め込み姿の氏子若衆がカリマタ(先が二又になった櫂の棒)で支え、火の粉を散らしながら本殿を回ります。

この大松明の火の粉を浴びると無病息災といわれ、家内安全、開運招福などを祈願する人々で毎年賑わっています。



あなたのまちの
筑邦銀行

筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)
<https://www.chikugin.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

